

大分類: a 技術開発

中分類	小分類	チェックの方法	レベ	診断結果	判定			備考
					H25	H26	H27	
1技術開発の基盤	①開発データベースは良好か	活用されるD/Bへの工夫をしているか	1	技術のデータベース(D/B)や標準類が体系化・共有化されておらず、活用されていない。				
		D/Bの共有化は実行出来ているか	2	技術のデータベースや標準類が体系化・共有化しようとしているが、実行はまだこれから。				
		共有かを図ったD/Bは活用されているか	3	技術のデータベースや標準類の体系化・共有化を進めつつあるが、有効活用には至っていない。				
		見直したD/Bの活用度合や成果はどうか	4	技術のデータベースや標準は定期的に見直し、また積極活用されているが、大きな効果には至っていない。				
		D/Bの活用により成果が上がっているか	5	先端技術開発の成果がデータとして常時蓄積更新され、積極活用により大きな効果に繋がっている。				
	②開発手法の活用は良好か	手法活用を促す工夫をしているか	1	統計手法や学術理論の裏打ちが無く、験や個人ノウハウに頼り過ぎたアプローチとなっている。				
		手法の導入は実行できているか	2	統計手法や学術理論に基づくアプローチも導入しようとしているが、実行はまだこれから。				
		手法の活用は広がっているか	3	統計手法や学術理論に基づくアプローチも導入しつつあるが盛んに応用されると言うほどではない。				
		手法活用の徹底度や成果はどうか	4	統計手法や学術理論に基づくアプローチが徹底されてきたが大きな成果には至っていない。				
		手法の活用により成果が上がっているか	5	統計手法や学術理論に基づくアプローチと経験が旨く噛み合い、画期的な要素技術が開発されている。				
	③支援ツールの活用は良好か	開発支援システムの導入は検討してるか	1	関連部門とのデータ授受に問題があるが、開発支援システムの導入の検討は無い。				
		CAD等の導入は実行出来ているか	2	CAE等を導入しようとしているが、実行はまだこれから。				
		導入したCAE等の活用は広がっているか	3	CAE等を導入したが、十分な活用とまではなっておらず、解析事例も少ない。				
		ツールの利用度合や成果はどうか	4	最新のIT技術を駆使出来ているが、大きな成果には至っていない。				
		ツールの活用により成果が上がっているか	5	最新のIT技術ベースに自社ノウハウを加え、画期的な要素技術の開発に繋げている。				
2技術開発のマネジメント	④ステップ管理は効果的か	計画の進捗をしているか	1	要素技術開発の日程計画に沿って進捗をする仕組み、体制が無い。				
		進捗の仕組み作りを実行出来ているか	2	要素技術開発の日程計画に沿って進捗をする仕組み、体制を整えようとしているが、実行はまだこれから。				
		進捗により開発の状況は活発か	3	要素技術開発の日程計画に沿って進捗をする仕組み、体制を敷いたが、開発の活性化には至っていない。				
		進捗により開発の活気と成果はどうか	4	技術開発の日程計画に沿って進捗をする体制は定着し開発が活性化したが、大きな成果には至っていない。				
		仕組みの追加で成果が上がっているか	5	開発期間を志向した仕組みも加わり、新製品に適用出来る画期的要素技術のメニューが増えつつある。				
	⑤開発危機管理は良好か	開発のリスクを低減しようとしているか	1	技術開発のリスク(日程、ネック技術、予算等)管理が欠如し、計画を変更せざるを得ないケースが多い。				
		リスク管理は実行出来ているか	2	開発ステップ毎のリスク管理をしようとしているが、実行はまだこれから。				
		リスク管理は積極取組みとなっているか	3	開発ステップ毎のリスク管理を始めたが、まだ積極取組という段階でない。				
		リスク管理で開発の活気と成果はどうか	4	開発ステップ毎のリスク管理に積極取組中だが、問題解決は製品開発着手後まで掛かる。				
		リスク提言で開発の成果が上がっているか	5	開発ステップのリスクを漏れなく抽出して積極対応をし、製品開発着手時には問題解決済み。				
	⑥機密確保は万全か	情報漏れを防ごうとしているか	1	社内外への情報漏れに対するルールが無い。				
		情報管理のルール作りを実行出来ているか	2	社内外への情報漏れに対するルールを設けようとしているが、実行はまだこれから。				
		設けた情報ルールは周知されているか	3	社内外への情報漏れに対するルールを設けたが、周知徹底とまでは至っていない。				
		情報ルールの徹底度と成果はどうか	4	情報漏れに対するルール運用を進めているが徹底度を欠き、真に安心して積極的开发に打ち込み難い。				
		セキュリティの確保で成果が上がっているか	5	セキュリティが万全となった事で安心して積極的开发に打ち込み、斬新な要素技術が開発されている。				

3創造性の発揮	⑦自主技術を育てているか	自主技術を育てようとしているか	1	自社技術を育てる意識が無い。				
		自社技術の育成を実行出来ているか	2	自社技術を育てようとしているが、実行はまだこれから。				
		自社技術の開発は活発か	3	自社の強みを活かしたテーマを積極的に取り上げているが、まだ他社に勝る技術は少ない。				
		自社技術の開発での活気と成果はどうか	4	自社の強みを活かした開発テーマが進んでいるが、特許を取れるレベルには至っていない。				
		強みを活かしたやり方で成果が上っているか	5	自社の強みを活かした開発により特許の取得が増え、新製品開発に有効に活かしている。				
	⑧異業種間共同開発は活発か	異業種交流の意識があるか	1	異業種間共同開発の必要性の認識がない。				
		異業種交流の取組は実行出来ているか	2	異業種間共同開発に取組もうとしているが、実行はまだこれから。				
		異業種交流を活発に進めているか	3	異業種間共同開発を始めているが、活発な取組というまでのレベルには無い。				
		異業種交流により開発の活気と成果はどうか	4	異業種間共同開発を活発に進めているが、大きな成果には至っていない。				
		異業種交流により成果が上っているか	5	互いの強みを良く活かした共同開発により、画期的な要素技術が生み出されている。				
	⑨テーマ設定の自由度はあるか	部門はユニークなテーマ設定出来るか	1	テーマは完全に技術管理部門の管理下にあり、開発部門独自のテーマ選択・推進の自由度が無い。				
		テーマへの自由度付与は実行出来ているか	2	開発部門独自のテーマ選択・推進の自由度を加えようとしているが、実行はまだこれから。				
		独自テーマの取り組みにより開発は活発か	3	開発部門独自のテーマ選択・推進が始まっているが、そこが活発な取組とまではなっていない。				
		独自テーマにより開発の活気と成果はどうか	4	開発部門独自のテーマ選択・推進も活発に行われているが、大きな成果には至っていない。				
		独創的テーマが大きな成果に繋がっているか	5	創造性が活かされるテーマが認められる事で、今までにない画期的な要素技術が生まれつつある。				